

図書室だより

vol.109

中央大学高校図書室

★今年ドラマ化・映画化された原作本のご紹介★

いろいろな作品が映像化されています。原作のイメージと違う！！いやいやもっと面白くなっている！！
 などなど、作品への思いや感想を友達と語り合ってみるのも面白いかも♪♪ すべて図書室にあります。

♡あん（ドリアン助川）ポプラ文庫 B913-ド

小さなドラ焼き店に働き口を求めてやってきた老女。老女の作る絶品の「あん」のおかげで店は繁盛するが…。彼女の壮絶な人生と「生きる意味」とは。

♡おかあさんの木（大川悦生）ポプラ文庫 B913-オ

「あなたたちとおなじ子どもが、戦争のなかでたくさん死んでいった」 戦争が人々にもたらす悲しみと、母と子の情愛が描かれる児童文学。

♡ランチのアッコちゃん（柚木麻子）双葉文庫 B913-ユ

4編からなる短編集。どんどん元気が出てきて前向きになれるビタミン小説。おいしそうなランチが出てきて思わず食べたくなる！！

♡アルジャーノンに花束を（ダニエル・キイス）早川書房 B933-K

知的障害を持つ青年が、開発されたばかりの脳手術を受け、超知能を持つ天才となったが…。知能があれば幸せなのか。幸せとは何なのか。

♡ソロモンの偽証（宮部みゆき）新潮社 913-ミ-1~3

学校内で発生した同級生の転落死の謎。何が本当のことなのか。誰が嘘をついているのか。学校内裁判で真実が明かにされる。

☆図書委員からのオススメ☆

『重力ピエロ』 伊坂幸太郎 著 新潮文庫 B913-イ

「春が二階から落ちてきた。」

仙台で立て続けに起こる放火事件。

放火現場の近くにいつもある奇妙なグラフィティアート（落書き）。

登場人物はこの話の語り手である兄の泉水（spring）と二つ下の弟の春（spring）、優しい父に美しい母。

両親の深い愛情に育てられた兄弟。

この家族には過去に辛い出来事があった。

その兄弟が辛い過去を抱えて大人になったとき、事件は起こった。

兄の泉水は遺伝子に関することを取り扱う会社に勤めている。

弟の春はグラフィティアートを消す仕事をしている。

放火とグラフィティアートの関連性に気付いた春は、泉水と謎解きを始める。

グラフィティアートの一見無意味に見える文字の羅列の本当の意味とは。

謎解きを進めるうちにわかってくる春の出生と事件との関係とは。

物語全体に散りばめられた伏線がすべて回収されたとき、スカッとして、涙腺が崩壊します。

他の伊坂作品の登場人物も出てくるのでぜひ探してみてください。

推理もの、家族の絆ものを求めている方、ただ泣きたい方におすすめです。

重いテーマを扱っているのに、爽やかに話が進んでいきます。

「本当に深刻なことは陽気に伝えるべきなんだよ。」

3年 女子図書委員